

# 【8/24赤いか速報①】ソデイカ漁期前試験操業の結果等

令和2年8月20日（木）に鳥取県漁協賀露支所の網中丸、豊進丸に御協力いただき、赤いかの試験操業を行いました。結果は3.5時間で0尾・・・

同日、賀露船2隻が操業して胴長30cm台の小型サイズが計3尾ということでした。厳しいことが予想されましたが、そのとおりの結果になってしまいました。

## ●漁況予測●

8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深の海水温と赤いか漁獲量との相関関係から赤いかの漁況の予測を行ってます。7月29日時点で同調査点の水温は16.4℃と例年並みの水温となっており、予想される漁獲量は「直近5カ年平均程度」の見込みです。

ただ、赤いかの主産卵場である沖縄県の4,5月の漁獲物組成は、産卵サイズ以下の小型主体であることから、そもそもの**来遊量が少ない**のではと危惧しています。

## 【その他のソデイカ情報】

兵庫県但馬水産技術センターHP「令和2年度日本海ソデイカ（あかいか）長期漁況予報」より

- ・過去5年平均と比べて「**平年並み～やや多め**」
- ・漁場形成は平年より「**平年並み～やや沿岸寄り**」見込み

※漁況速報 8/9：18kg 8/21：3kg

沖縄県水産海洋技術センターHP「漁海況情報」

- ・今漁期（R1年11月～R2年5月）の漁獲量は、過去5年平均よりも「**少なく**」推移
- ・特に5月の漁獲物組成はほぼ7kg以下